

発行日：平成25年3月26日

第1回茨城いちごグランプリが開催される！

茨城県いちご経営研究会では、いちご栽培技術の改善と品質向上、生産意欲の高揚を図り、本県いちご生産の振興に資するために、「第1回茨城いちごグランプリ」を開催しました。

各地域農業改良普及センターは、管内いちご生産者からの参加申込を受け、予備審査会を実施し、管内の優れた生産者を本審査会へ提出しました。

本審査会は、農業総合センター園芸研究所長を審査員長とした11名の本審査員により、予備審査で選ばれた12戸の生産者の審査が行われました。

2月13日には、審査圃場を東奔西走し、各地域農業改良普及センターの協力を得て生育、着果状況等の立毛審査を実施しました。



2月22日には、県園芸研究所において、審査圃場のいちご1箱(4パック)の出品をもって、品質審査・食味官能審査を開催しました。

また、当日は県内外の11産地のいちごの品質・食味検討会も併せて開催され、審査出品いちごは多くの会員、関係者の目が注がれていました。

そして、両本審査会の結果、グランプリ大賞、金・銀賞の受賞者が下記のとおり決定いたしました。なお、表彰につきましては、平成25年7月の同研究会総会にて行われます。

◆茨城いちごグランプリ受賞者◆

	住 所	氏 名	品 種
大 賞	筑西市森添島	国府田 昌 弘	とちおとめ
金 賞	筑西市蓬田	廣 瀬 勝 司	ひたち姫
金 賞	常陸大宮市野口	都 竹 大 輔	とちおとめ
金 賞	河内村源清田	FUJI いちご組合	とちおとめ
銀 賞	鉾田市台濁沢	深 作 勝 己	紅ほっぺ
銀 賞	水戸市鯉淵	深 谷 義 泰	さちのか
銀 賞	小美玉市佐才	浜 野 博 士	いばらキッス

農家の皆様へ！

～農業用プラスチック（農ビ・農ポリ等）の回収時のお願い～ 土などの付着物を十分に取り除きましょう！

園芸リサイクルセンターが回収している使用済み農業用プラスチックには、泥等が重量の10%～15%程度付着しています。

福島原発事故以降、この残土の処分が思うように進まず、施設内での保管を余儀なくされております。

残土の処分には、多額の費用がかかりますので、この費用の捻出も、大きな課題となっております。

今後は、以下の点に留意していただき、リサイクルセンターへの泥等の搬入を抑え、農業用使用済みプラスチックの回収とリサイクルセンター事業が継続できますよう、排出される皆様のご協力をお願いいたします。

【回収にあたっての留意事項】

- 農業用使用済みプラスチックは、よく泥等を落とし、作物の残さ、木片、ハトメの金属片などの異物を取り除いてください。
- ヤケ等によりリサイクルできないものは、除いてください。
- 農ビ・農ポリの荷造りは下記を参考にしてください。ふろしき包み、のり巻き包みにはしないでください。【重さ10kg程度で梱包して下さい】



- 回収は農ビと農ポリ（農PO、農サクビを含む）に分けて行っています。回収した後の処分方法が違うので、必ず分別してください。

	農ビ	農ビ以外のもの
回収するもの	・ 農業用塩化ビニルフィルム 「農ビ」にはブルー系で「農ビ」と統一マークがプリントしてあります。	・ 農業用ポリエチレンフィルム（農ポリ） ・ 農業用ポリオレフィンフィルム（農PO） ・ 農業用酢酸ビニルフィルム（農サクビ） ・ 肥料空袋

- 使わなくなった農ビや農ポリは「産業廃棄物」であり、事業者（農家）は自らの責任で適正に処理する事が、義務付けされています。
- 不法投棄や野焼きへの罰則が強化されました。5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金、または併科。法人は3億円以下の罰金が科せられます。

- ◆ 公益社団法人園芸いばらき振興協会は、排出事業者からの委託を受けて、使用済み農業用プラスチックの回収・処理を行っています。
- ◆ 回収した「農ビ」は主に床材に、「農ポリ」はプラスチック製品の原料や発電用燃料等としてリサイクルされています。
- ◆ 回収日時や場所など、詳しいことは市町村協議会にお問合わせください。

※違法収集にご注意を！

不法投棄などに対して、上記のように罰則があります。委託業者が不法投棄を行った場合には、排出事業者（農家）もその責任を負わされます。

第1回茨城県さつまいも料理コンクール開催

茨城県かんしょ生産者連絡協議会

さつまいもは、ビタミンやミネラル類、食物繊維を豊富に含んでおり、低カロリーで美容と健康の上でも効果的な食品です。

最近では、焼き芋ばかりではなく、煮物やコロッケなどの総菜や、いもご飯、汁物の具、スイートポテトなどのお菓子など様々に加工され、色々な楽しみのある優れた食材として注目されています。

茨城県かんしょ生産者連絡協議会は、県産さつまいもの消費拡大とPRを図るとともに、その利活用の普及啓発により、県民の意識向上と健康増進に寄与するため、さつまいもを利用した新しい料理方法を募集しました。昨年第1回茨城県さつまいも料理コンクールを開催し、スイーツ類97点、料理類59点の合計156点の応募があり、第1次審査は書類審査で優秀作品10点を選考し、第二次審査は調理実演を行い、その中から下記の5名の方々が入賞されました。

この5名の作品は、一般消費者の家庭料理の参考にするためレシピを印刷し、イベント等で配布したり、菓子業界や料理業界に紹介して、県産さつまいものさらなる消費拡大とPRに活用されます。

また、県庁食堂「ひばり」で3月11日から15日までさつまいもフェアが行われ、入賞作品が提供され、好評でした。

【入賞作品】



正賞（特別賞）	料理名	氏名 学校名
最優秀賞 （茨城県知事賞）	さつまいもとヨーグルトの モンブラン風ムース	石川 美咲さん 【茨城キリスト教大学 3年】
優秀賞 （茨城県農林水産部長賞）	さつまいものみたらし団子	弓野末紗子さん 【茨城県立石岡第二高等学校2年】
優良賞 （茨城県農業総合センター長賞）	ほっこり薩摩芋の JAPANESE ポタージュ	菌部 陽美さん 【茨城県立水戸第三高等学校3年】
優良賞 （全国農業協同組合連合会 茨城県本部長賞）	和風みたらしポテトプリン	飯塚 真舜さん 【鯉淵学園農業栄養専門学校1年】
優良賞 （園芸いばらき振興協会 代表理事賞）	スイートポテトdeレモン スフレ	塚田 由稀さん 【茨城県立竜ヶ崎第二高等学校3年】



最優秀賞（茨城県知事賞）
さつまいもとヨーグルトのモンブラン風ムース
石川 美咲さん



優秀賞（茨城県農林水産部長賞）
さつまいものみたらし団子
弓野末紗子さん

この5作品のレシピは、「いばらき食と農のポータルサイトうまいもんどころ」内の【いばらきの味レシピ集】に掲載されています。

「さつまいも」で検索して下さい！

茨城県農産物マッチングサイトの推進状況

アドレス：www.ibaraki-agrimatching.net

当協会では、平成24年1月から茨城県の委託を受けて「茨城県農産物マッチングサイト」を開設しました。県内の農業者等の契約販売・経営向上を目指し、農業者の売りたい商品情報と県内外の食品事業者の買いたい商品情報を公開し、マッチングを行います。現在、コーディネーターが情報収集やニーズの掘り起こし、取引成立に向けて積極的にサポートを行っています。

登録状況について（H25年3月現在）

- 会員登録件数・・・111件（農業者等81件 食品事業者30件）
- 商品情報登録件数・・・80件（農業者等68件 食品事業者12件）
- マッチング成立件数・・・10件（ラッキョウ、ルバーブ、スイートカクテルペッパー2件、ほしいも2件、自然薯、サツマイモ、カボチャ、野菜類）

【事例：サツマイモの商談成立】～横浜のケーキ屋さんの要望に応える出荷組合～

横浜のケーキ屋さんは、それまでの取引業者からの納品に滞りが生じて、新たなサツマイモの仕入先を探していました。そのなかで、このマッチングサイトを知り、サツマイモの買いたい情報を登録されました。

茨城県農産物販売推進東京本部の協力を頂きながら、ケーキ屋さんに来県いただき、サツマイモ産地の生産組合との商談に繋げることが出来ました。

商談の中では、ケーキ屋さんのこれまでの苦労話や農業者への思いやりも語られました。



平成24年度いばらき園芸振興賞受賞集団等決定

当協会では、生産、流通・販売、環境等において優れた活動や顕著な業績のあった集団等を、表彰するとともに、広く顕彰、奨励することで本県園芸の一層の発展に資することを目的に平成18年度から「いばらき園芸振興賞」表彰事業に取り組んでいます。

本年度は、候補として県内5つの集団が関係する市町村から推薦され、去る3月21日に審査委員会を開催した結果、以下のとおり決定しました。

また、併せて、県農産物販売推進東京本部から推薦を受けた「水かんフルーツ」、「ヤマナカヤフルーツ」の2社に茨城県知事感謝状贈呈を推薦することも決定しました。

◎最優秀賞：JA かしまなだ園芸部会水菜部

○優秀賞：さしま茶協会、JA 水戸北部しょうが部会、JA 北つくばこだま西瓜部会、JA 茨城みずほ柿生産部会

【産地情報】大分県さつまいも「甘太くん」

茨城県かんしょ生産者連絡協議会 先進地視察研修より



茨城県かんしょ生産者連絡協議会は、平成25年3月5～6日の日程で大分県臼杵市のJAおおいた野津事業部で、①品種名：べにはるか「甘太くん」の産地育成とその取り組みについて、②高糖度かんしょ選果・貯蔵庫施設の活用について、先進地研修を実施しました。

大分県のかんしょ生産は、茨城県と比較すると全県の栽培面積、1戸あたりの面積も小規模だが、産地育成や販売戦略において見習うべき点は多い。

当初、県が事務局となり、高糖度かんしょ協議会を設立し、JA（生産者）や全農等関係機関が一体となり、産地計画や販売戦略・販売計画等で意思統一を図った。

具体的な販売戦略として、全県統一で「甘太くん」のネーミングで販売し、その条件として、①40日間貯蔵 ②糖度25度以上 ③ウイルスフリー苗の使用、を打ち出し、他の産地との差別化を図るとともに、大手コンビニエンス「ローソン」へ焼き芋原料提供等により、平成23年度販売単価は224円/kgと高価格で販売されている。

また、今回研修した野津事業部では、生産者は原料を持ち込むだけで、その後の洗浄・選別・調整・貯蔵・出荷はJAが担い、生産者の労力軽減につながっている。

【大分県のかんしょ面積（ha）の推移】

面積 (ha)	H20	H21	H22	H23	H24
臼杵市	5.7	15.0	21.0	25.0	35.5
豊後大野市	2.0	7.0	11.0	18.0	31.5
県計	7.7	22.0	32.0	43.0	67.0



【大分県のかんしょの販売単価（円/kg）の推移】

単価 (円/kg)	H20	H21	H22	H23
甘太くん	172円	186円	212円	224円
従来のかんしょ	118円	120円	177円	—



編集・発行

公益社団法人 園芸いばらき振興協会

〒311-4203 水戸市上国井町3340番地

TEL: 029-222-8511 FAX: 029-222-8513

ホームページ: <http://www.engei-ibaraki.or.jp/> E-mail: srs@engei-ibaraki.or.jp

●園芸リサイクルセンター

〒31-3137 東茨城郡茨城町網掛1154番地1
TEL: 029-293-6800 FAX: 029-293-6860

●園芸種苗センター

〒311-4203 水戸市上国井町3118番地2
TEL: 029-239-7600 FAX: 029-239-7601